

五月十七日

五月十七日

五月十七日

五月十七日

五月十七日

五月十七日

五月十七日

五月十七日

五月十七日

山口縣會議事規則案

第一章 議場整理

第一條 議員ノ席次ハ議員改選毎ニ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ補缺議員ハ前任者ノ席次ヲ襲フモノトス

第二條 議事中心ハ議長及議員共其氏名ヲ稱ヘスシテ議長ハ職名議員ハ席次ノ番號ヲ稱フヘシ

第三條 議事中ハ議長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ議席ヲ離ル、コヲ得ス

第四條 遅参ノ議員ハ議長ノ許可ヲ得テ着席スヘシ

第五條 議事中ハ私語吸煙其他總テ議事ヲ妨クルノ舉動ヲ爲スヲ得ス

第六條 改選後ノ初會ニ於テ議長副議長ヲ選舉シ及議長副議長故障アリテ臨時議長ヲ選舉スル場合ニ

於テハ出席議員中年長者ヲ以テ假議長トシ其事務ヲ執行セシムヘシ

第七條 總テ選舉ノ場合ニ於テ投票點檢ノ際ハ議長ノ指名ヲ以テ議員二名ヲ立會セシムヘシ

第八條 議長發言ノ場合ニ於テハ副議長ニ議長及副議長共ニ發言ノ場合ニ於テハ議員ノ互選ヲ以テ臨

時議長ヲ定メ之ニ其職務ヲ代理セシムヘシ但此場合ニ於テハ議長ハ其議題ノ議了ヲ待テ其席ニ復ス

ヘシ

第九條 法律命令又ハ此規則ニ依リ縣會ノ議決ニ附スヘキモノ、外議場内ニ起リタル總テノ事件ハ議

長之ヲ決シ又ハ議會ニ諮ヒ之ヲ決スヘシ議事規則ノ疑義ニ就テモ亦同シ

五月十七日

第一章 議事順序及議事日程

第十條 會議ハ午前九時ニ開キ午後三時ニ閉ツルヲ以テ例トス但時宜ニ依リ議長之ヲ伸縮スルコトヲ得

第十一條 會議ノ開閉ハ號鐘ヲ以テ之ヲ報ス

第十二條 議事ヲ始ムルトキハ議長ハ先ツ其議題及ヒ讀會ノ順序ヲ報告シ書記ヲシテ其議案ヲ朗讀セシムヘシ但時宜ニ依リ朗讀ヲ省略スルコトヲ得

第十三條 議長ハ會議ノ終リニ於テ次會ノ議事日程ヲ議會ニ報告スヘシ

第十四條 議長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ議會ノ意見ヲ採リ議事日程ヲ追加變更スルコトヲ得

第十五條 議事ハ第一讀會第二讀會第三讀會ヲ經テ確定ス但簡易ノ議題ニ付テハ議長ハ議會ノ意見ヲ採リ讀會ノ順序ヲ省略スルコトヲ得

第十六條 第一讀會ニ於テハ議題ノ大体ヲ討議シ其議題ノ爲メ第二讀會ヲ開クヤ否ヲ決スヘシ第二讀會ヲ開クヘカラスト決シタルトキハ其議案ヲ廢棄シタルモノトス

第十七條 第二讀會ニ於テハ議案ノ逐條ヲ審議シテ之ヲ決スヘシ

第十八條 第三讀會ニ於テハ第二讀會ノ議決ヲ以テ議案トシ可否ヲ決スヘシ

第十九條 議案ニ對シ疑義アルトキハ第一讀會ニ於テ之カ説明ヲ求ムヘシ但シ已ムヲ得サルモノハ議

同上

同上

修正

同上

同上

同上

同上

同上

同上

同上

同上

同上

修正

長ノ許可ヲ得テ第二讀會以下ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第二十條 議長ハ議事ノ便利ト認メタルトキハ第二讀會以下ニ於テ適宜條項ヲ連合又ハ分割シ若ハ逐

條ノ順序ヲ變更シテ附議スルコトヲ得但異議ノ申立アルトキハ議會ニ諮ヒ討論ヲ用井スシテ之ヲ決スヘシ

第二十一條 動議ハ第二讀會ニ於テ賛成者ナキモ第三讀會ニ於テ三名以上ノ賛成者ナキモノハ議題ト爲スコトヲ得ス

建議ハ賛成者アルヲ待テ議題トス

第二十二條 修正ノ動議ハ第二讀會第三讀會ニ於テ之ヲ提出スルコトヲ得

第二十三條 修正動議ノ否決セルモノハ同讀會ニ於テ再ヒ之ヲ提出スルコトヲ得ス

第二十四條 異議ノ申立及其賛成ハ單ニ其旨ヲ述フヘシ賛成者ナキモノハ成立セサルモノトス

第二十五條 已ニ成立シタル動議異議建議ヲ發議者自ラ撤回シ他ノ議員其說ヲ繼續セントスルトキハ

更ニ規定ノ賛成者ヲ得ルニアラサレハ消滅シタルモノトス

第二十六條 第二讀會ノ終リニ於テ議會ハ便宜ニ依リ委員ヲシテ修正議決ノ條項及字句ヲ整理セシム

ルコトヲ得

第二十七條 修正ノ動議數派ニ分レ爲メニ議案修正案共過半數ノ賛成ヲ得サル場合ニ當リ議會ニ於テ

建議ハ賛成者アルヲ待テ議題トス  
動議ハ第二讀會ニ於テ賛成者ナキモ第三讀會ニ於テ三名以上ノ賛成者ナキモノハ議題ト爲スコトヲ得ス  
建議ハ賛成者アルヲ待テ議題トス

廢棄スヘカラサルモノト議決シタルトキハ特ニ委員ヲシテ其案ヲ調査セシメ之ヲ同讀會ノ議ニ附スルヲ得

第三章 發言及討論

第二十八條 發言セントスルモノハ先ツ議長ト自己ノ番號トヲ呼ヒ議長其番號ヲ呼ヒ回スヲ待テ發言スヘシ

第二十九條 討論問答ハ總テ議長ニ向テ之ヲ爲スヘシ

第三十條 討論問答ハ議題外ニ涉ルコトヲ得ス

第三十一條 第三讀會ニ於テハ議員ハ同一ノ議題ニツキ發言三回ニ超ルコトヲ得ス但質議應答又ハ注意ノ喚起及異議ノ申立ハ此限りニアラス

第三十二條 議長ニ於テ議員ノ發言議題外ニ涉リ又ハ無用ノ論說ト認ムルトキハ之ヲ中止スヘシ

第三十三條 發言者未タ盡キスト雖ハ議長ニ於テ論旨已ニ盡キタリト認ムルトキハ討論終局ノ宣告ヲ爲スコトヲ得但異議ノ申立アルトキハ之ヲ議會ニ諮ヒ討論ヲ用井スシテ決スヘシ

議員ハ討論終局ノ注意ヲ議長ニ喚起スルコトヲ得

第四章 表 決

第三十四條 出席議員ハ可否ノ數ニ加ハラサルコトヲ得議長席ニ在ル者ハ表決ノ數ニ加ハラサルモ

原案可決

同上

同上

修正案

原案可決

同上

原案可決

ノトス  
第三十五條 表決ノ方法ハ起立ヲ以テ例トス但議長又ハ議會ノ意見ニ依リ投票ヲ用ウルコトヲ得

第三十六條 表決ヲ採ラントスルトキハ其表決ニ付スヘキ問題ヲ議會ニ宣告スヘシ

第三十七條 可否ノ數ハ書記ヲシテ之ヲ點檢セシメ其決定ハ議長之ヲ宣告ス

第三十八條 議事ニ際シ發言者ナキトキハ議長ニ回議員ノ發言ヲ權シ尙ホ之レナキトキハ原案ニ異議ナキモノトシ其旨ヲ宣告スヘシ

第三十九條 修正案ハ原案ニ先チ採決ス同一ノ議題ニツキ數個ノ修正案アルトキハ原案ニ最モ遠キモノヨリ先ニス此場合ニ於テハ議長ハ先ツ其順序ヲ定メ之ヲ議會ニ宣告スヘシ其先後ニ付異議アルト

キハ議會ニ諮ヒ討論ヲ用井スシテ之ヲ決スヘシ

修正案總テ否決セラレタルトキハ原案ニツキ決ヲ採ルヘシ

第四十條 議員ハ自己表決ノ更正ヲ求ムルコトヲ得ス

第五章 小 會 議

第四十一條 小會議ハ議案又ハ報告書其他ニツキ内議ヲ要スル場合ニ於テ議長又ハ議會ノ意見ニ依リ之ヲ開ク

第四十二條 小會議ノ議長ハ副議長ヲ以テ之ニ充ツ副議長故障アルトキハ臨時議長ヲ互選スヘシ

